



平成30年11月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月6日

上場会社名 丸八倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9313 URL <http://www.maru8.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 峯島 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部長 兼 情報システム部長 (氏名) 宮沢 浩元

TEL 03-5620-0809

四半期報告書提出予定日 平成30年7月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年11月期第2四半期の連結業績(平成29年12月1日～平成30年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第2四半期	2,397	2.6	235	10.3	191	26.9	126	66.7
29年11月期第2四半期	2,335	4.7	262	21.4	262	21.2	379	56.2

(注)包括利益 30年11月期第2四半期 62百万円 (85.3%) 29年11月期第2四半期 422百万円 (94.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年11月期第2四半期	21.61	
29年11月期第2四半期	52.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年11月期第2四半期	16,236	9,012	55.4
29年11月期	14,771	9,043	61.1

(参考)自己資本 30年11月期第2四半期 8,989百万円 29年11月期 9,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年11月期		0.00		16.00	16.00
30年11月期		0.00			
30年11月期(予想)				16.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年11月期の連結業績予想(平成29年12月1日～平成30年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	2.7	540	13.3	500	3.2	320	33.7	54.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年11月期2Q	7,300,000 株	29年11月期	7,300,000 株
30年11月期2Q	1,466,754 株	29年11月期	1,466,754 株
30年11月期2Q	5,833,246 株	29年11月期2Q	7,289,463 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

今後、業績予想に修正が生じた場合は、速やかに開示いたします。

業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等に留意を要する状況ながら、企業収益に改善の動きがみられ、設備投資にも緩やかな増加の動きがみられたほか、雇用・所得環境も改善傾向にあり、各種政策の効果もあって、景気は緩やかに回復しました。

このような経済情勢にあって、物流業界におきましては、保管残高数量・金額とも前年同月比増加に転じる等、国内貨物の荷動きに回復傾向がみられるものの、競争の激化等もあり、厳しい状況が続いております。また、不動産賃貸業界におきましては、需給改善の兆しはあるものの賃料水準の本格的回復には至っておりません。

このような状況の下、当社グループは顧客ニーズの的確な把握と適切な管理を徹底してまいりました。物流事業における具体的施策として、平成28年に竣工した千葉県八街市の新規倉庫の稼働率が順調に向上しつつあるほか、既存倉庫についても安定的に稼働しており、保管料の増加に努めてまいりました。このほか、きめ細かなサービスを提供しながら、既存顧客との取引拡大や新規顧客の獲得に努めてまいりました。また、不動産事業における具体的施策として、仙台市の賃貸マンションが安定的に稼働しており、清澄の賃貸マンションも計画通り平成30年2月から稼働しているほか、平成30年4月に仙台市の賃貸オフィスビルを取得し、収益基盤の増強が図られつつあります。

この結果、売上高は物流事業ならびに不動産事業ともに増収となり前年同期比61百万円(2.6%)増の2,397百万円となりました。営業利益は減価償却費や修繕費等の増加により前年同期比27百万円(10.3%)減の235百万円となり、経常利益は支払利息等の増加により前年同期比70百万円(26.9%)減の191百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比253百万円(66.7%)減の126百万円となりました。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

物流事業

物流事業では、保管料が増収となったことにより、売上高は前年同期比5百万円増の2,220百万円となりました。セグメント利益は修繕費等の増加により前年同期比15百万円減の441百万円となりました。

不動産事業

不動産事業では、不動産賃貸料が増加したことにより、売上高は前年同期比56百万円増の177百万円となり、セグメント利益は前年同期比21百万円増の40百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、清澄の賃貸マンション竣工や仙台市の賃貸オフィスビル取得に伴う有形固定資産の増加により前期末比1,464百万円増加の16,236百万円となりました。負債は、長期借入金の増加により前期末比1,495百万円増加の7,223百万円となり、純資産は前期末比31百万円減少の9,012百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は55.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、平成30年1月12日に公表しました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,035,865	855,392
受取手形及び営業未収入金	310,336	322,640
繰延税金資産	30,604	30,604
その他	160,223	371,512
流動資産合計	1,537,031	1,580,149
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,155,627	7,011,818
機械装置及び運搬具(純額)	156,801	172,718
土地	4,803,413	5,072,117
建設仮勘定	1,663,880	-
その他(純額)	206,338	240,534
有形固定資産合計	10,986,062	12,497,188
無形固定資産		
借地権	72,372	72,372
その他	40,733	39,402
無形固定資産合計	113,105	111,774
投資その他の資産		
投資有価証券	1,594,118	1,501,349
従業員に対する長期貸付金	1,809	1,260
差入保証金	476,449	475,966
会員権	9,978	9,978
繰延税金資産	23,981	23,839
その他	28,907	34,738
投資その他の資産合計	2,135,245	2,047,133
固定資産合計	13,234,413	14,656,097
資産合計	14,771,444	16,236,247

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	138,527	118,594
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	436,958	583,176
繰延税金負債	162	162
未払金	20,562	23,852
未払費用	99,862	97,147
未払法人税等	99,272	81,701
未払消費税等	148,265	7,925
前受金	156,610	164,180
その他	9,461	9,161
流動負債合計	1,209,683	1,185,902
固定負債		
長期借入金	3,124,442	4,641,633
繰延税金負債	680,850	652,444
役員退職慰労引当金	118,386	129,002
退職給付に係る負債	33,147	19,198
長期預り保証金	537,724	572,015
その他	23,517	23,517
固定負債合計	4,518,068	6,037,811
負債合計	5,727,751	7,223,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,527,600	2,527,600
資本剰余金	2,046,936	2,046,936
利益剰余金	5,289,799	5,322,539
自己株式	△1,275,062	△1,275,062
株主資本合計	8,589,273	8,622,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	431,374	367,011
その他の包括利益累計額合計	431,374	367,011
非支配株主持分	23,044	23,508
純資産合計	9,043,692	9,012,533
負債純資産合計	14,771,444	16,236,247

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
売上高	2,335,288	2,397,037
売上原価	1,771,733	1,842,923
売上総利益	563,555	554,113
販売費及び一般管理費	301,075	318,794
営業利益	262,480	235,319
営業外収益		
受取利息	333	363
受取配当金	6,362	3,139
その他	2,535	3,013
営業外収益合計	9,232	6,515
営業外費用		
支払利息	8,720	15,431
支払手数料	349	34,433
その他	38	-
営業外費用合計	9,108	49,865
経常利益	262,604	191,969
特別利益		
有形固定資産売却益	292,177	9
特別利益合計	292,177	9
特別損失		
有形固定資産除却損	3	301
特別損失合計	3	301
税金等調整前四半期純利益	554,778	191,677
法人税等	175,354	65,142
四半期純利益	379,424	126,535
非支配株主に帰属する四半期純利益	320	463
親会社株主に帰属する四半期純利益	379,103	126,071

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
四半期純利益	379,424	126,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,663	△64,362
その他の包括利益合計	42,663	△64,362
四半期包括利益	422,088	62,172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	421,767	61,708
非支配株主に係る四半期包括利益	320	463

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	554,778	191,677
減価償却費	179,804	210,853
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△37,506	△13,948
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△126,120	10,615
受取利息及び受取配当金	△6,696	△3,502
支払利息	8,720	15,431
有形固定資産売却損益(△は益)	△292,177	△9
有形固定資産除却損	3	301
売上債権の増減額(△は増加)	14,863	△12,303
その他の資産の増減額(△は増加)	△9,649	△214,875
仕入債務の増減額(△は減少)	△27,935	△19,932
未払消費税等の増減額(△は減少)	115,282	△140,339
その他の負債の増減額(△は減少)	△148,312	25,041
小計	225,055	49,008
利息及び配当金の受取額	6,696	3,502
利息の支払額	△9,334	△15,124
法人税等の支払額	△134,072	△72,437
営業活動によるキャッシュ・フロー	88,345	△35,051
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,020,512	△1,703,249
有形固定資産の売却による収入	1,594,156	10
無形固定資産の取得による支出	△1,329	△3,670
貸付金の回収による収入	900	549
差入保証金の差入による支出	△4,006	△632
差入保証金の回収による収入	350	1,115
長期前払費用の取得による支出	△3,890	△9,517
その他の支出	△10	△10
その他の収入	2,113	267
投資活動によるキャッシュ・フロー	567,770	△1,715,137
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△208,300	△236,591
長期借入れによる収入	700,000	1,900,000
自己株式の取得による支出	△19	-
配当金の支払額	△116,549	△93,693
財務活動によるキャッシュ・フロー	375,130	1,569,715
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,031,246	△180,473
現金及び現金同等物の期首残高	209,027	985,865
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,240,273	805,392

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年12月1日 至 平成29年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,214,985	120,303	2,335,288	—	2,335,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,214,985	120,303	2,335,288	—	2,335,288
セグメント利益	457,564	19,062	476,626	△214,146	262,480

(注) 1. セグメント利益の調整額△214,146千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年12月1日 至 平成30年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,220,029	177,008	2,397,037	—	2,397,037
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,220,029	177,008	2,397,037	—	2,397,037
セグメント利益	441,581	40,996	482,577	△247,258	235,319

(注) 1. セグメント利益の調整額△247,258千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。